

日本畜産学会第 130 回大会 開催趣意書

– 寄付金・広告のお願い –

日本畜産学会第 130 回大会実行委員会

日本畜産学会第 130 回大会開催におけるご寄付・広告のお願い

謹 啓

(公社)日本畜産学会第 130 回大会を東京農業大学が担当校として、2022 年 9 月 14 日(水)～9 月 17 日(土)の 4 日間にわたり、開催することとなりました。東京農業大学は 2011 年 3 月の第 113 回大会で担当校となり、準備を進めたところですが、東日本大震災の影響により中止となりました。今大会もコロナ禍での開催となるため、オンライン形態で開催予定ですが、公開シンポジウムはハイブリッド形態で開催すべく準備を進めているところです。

第 130 回大会では、一般講演、優秀発表賞応募講演、English Presentation Award に加え、「未来をになう Animal Science の発展と展開」を主題とした公開シンポジウムや各種セミナー等が予定されております。また、各種関連学会・研究会の開催も予定されています。

本学会は、畜産および社会と動物とのかかわりに関する学術研究の発表、情報交換の場として、その進歩・普及を図り、さらに学術および文化の発展に寄与することを目的として活動しています。年次大会では国公私立大学のみならず独立行政法人・地方自治体の試験研究機関、民間企業など、様々な組織から最前線で活躍する研究者から、それを目指す学生までが最新の研究成果を発表し、情報を交換しています。本大会の公開シンポジウムでは、大学生だけではなく高校生にも参加を呼びかけ、未来をになうより多くの若者に参加の機会を提供する予定です。

現在、関係者一同、大会の開催に向け尽力しているところです。昨今の厳しい経済状況でのお願いで恐縮でございますが、本大会開催の趣意にご賛同いただき、賛助金募集にご高配を賜りますようお願い申し上げます。

敬 白

2022 年 6 月吉日

日本畜産学会第 130 回大会

大会長 半澤 恵

実行委員長 平野 貴

(東京農業大学農学部)

大 会 概 要

1. 大会名 (公社)日本畜産学会第 130 回大会
2. 大会期日 2022 年 9 月 14 日（水）理事会
関連学会・研究会等
9 月 15 日（木）優秀発表賞応募講演
若手企画委員会主催ランチョンセミナー
機関誌編集委員会主催ランチョンセミナー
推戴式・授賞式・受賞者講演
若手企画委員会主催交流会（サイエンスナイト）
9 月 16 日（金）一般講演
若手奨励・男女共同参画推進委員会主催ランチョンセミナー
9 月 17 日（土）公開シンポジウム
関連学会・研究会
3. 主催校 東京農業大学農学部
〒243-0034 神奈川県厚木市船子 1737
4. 参加予定者 日本畜産学会第 130 回大会 約 1,500 名（関連学会を含めた延べ人数）
* 畜産学関連研究者、学生、畜産関連団体・企業など
5. 大会事務局 東京農業大学農学部内日本畜産学会第 130 回大会実行委員会
実行委員長 平野 貴
TEL:046-270-6564
FAX:046-270-6569
E-mail: t3hirano@nodai.ac.jp

別 紙

- 寄付金：準備運営及び関連シンポジウムの実施費用に充当します。

1 口 10,000 円

大会講演要旨に貴社名を掲載いたします。

- 協賛：準備運営及び関連シンポジウムの実施費用に充当します。

- バナー広告 1 件 10,000 円

お申込み方法

同封の申込書に必要事項を記入し、下記大会実行委員会までメール添付で送付ください。

日本畜産学会第 130 回大会実行委員会 会計担当：岩田 尚孝

〒243-0034 神奈川県厚木市船子 1737 東京農業大学農学部内

E-mail: h1iwata@nodai.ac.jp

申込〆切

寄付・提供物： 2022 年 7 月 31 日(日)

振込先

口座： 厚木市農業協同組合(5152)・駅前支店(012)・普通口座 0058902

名前： ニホンチクサンガツカイダイ130カイタイカイカイチョウハンザワメグム